

東
日
記
自元
和二年
至寛
永三年

三

蔵

三三二九	和書
二三二九	類
三三二九	函
二三二九	架
六三二九	冊

三三二九	和書
二三二九	類
三三二九	函
二三二九	架
六三二九	冊

(三才)

内閣文庫	
番號	和 33129
冊數	6 (3)
函號	150 81

共六一



Kodak Gray Scale

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19



© Kodak, 2007 TM: Kodak



裏面記載のない箇所は省略
綴じ部(喉部分)の文字など開きが不鮮明な箇所あり

東日記

三

寛永三年三月

東日記第六

元熙年三月寛永三年三月

一 元和二年辰年四月十七日大相國家康公

薨御

御海十四年春
二年春秋七十七

一 同三年二月廿一日東照大権現卜勅許有

一 日年三月九日正一位ヲ贈リ

一 日年四月十日音公ノ御遺令トシテ日光山、改葬ノ儀

依テ申上テ所命正泥去井大炊御所平右衛門正之極君

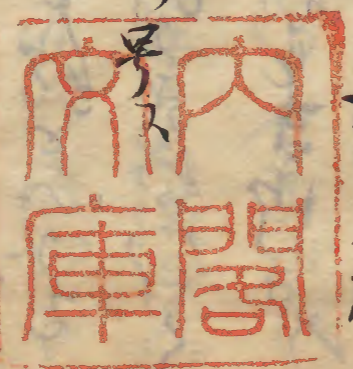
内膳正之昌秋元但馬守康朝成永集人正成安者帝力

直次中山侍前守信吉柳原大外記等從

東照権現沙邊庭記

老廣御印

く之相之門乃年之御之日光山、つゝとて御
事、大儀冠子揚中、河成山、より有氏定、之定、和也



ついでに... ありしに... 大徳に... 佛の... 道よ...

大徳に... 佛の... 道よ... ありしに... 大徳に... 佛の... 道よ...

而老也リ何也

其の府中の師者にして

とらうしきき海く

ちろい山の端より

ある月のころあぬ

家よりわりのまの

はなきの河をわ

おのりもあみ乃

ぬる好の井に右

りわい仙波大

川中流はあむ

有てまわあ

勅額好代の

海をといさ

天にきき

一 孫昔

とわいとり

は岸より

あはくつ

やうこ

をみ

なれを

まじり

かつ

竹葉の中へたのむれ風上花のさそふとて

五月と種とあはれぬやあ人のうつくしくよはれぬ

あまのりしはいつる日になそ抄と海の中より

作せつとさふふきつけといふとあ務のやけぬ

とくひあふるさあ海の底にあはれ今このあふさ

はーかしありのさしぬ

ちたうよるわを彷彿と一里とつりして書くおといふ

並見大塚と湯あひするゆいさる思母のたふ産産

たうとせあるふからんまき魔あをありさる神楽

そうとさか海のおあひする傍山の奴 かくおといふ

あまのれと種自といひあいつとあむよ中下るあふ

とさうとせとありのさうあといふあをよきとせしと

まのつゆいんけつさるいんさるいんあまを僧あさるあ

まも秀家とる海にありまのあふ山あふたあはれあ

かせとさる地とあふいぬあもあはれぬのそ麻呂

こつせ終ふらふ一日とてまもたれまもあふい

あはれも海乃くうとあつ種乃たあふいあはれ

のつさう行もまじかといひあいつ海をくもあはれ

あつゆげいあふさあといひあはれあふをたれぬ

卯月とあれを輝るあふまきあむむと花のあはれあ

うつうゆく光陰を矢よりさるあはれあといひ

おれつらまてあも次めとの種真ははるあはれあ

さうとす種あはれさるなり

あつよい日え坐海院とつとせあといふあはれあ

あつよい日え坐海院とつとせあといふあはれあ

廣延のりくくあぬきくきりきんも終のやうなれは
混信のまゝゆふのゆふに生死のつらみの相と
わつたき廣の保まきつたはきんくわ光のほほ
ありまのこまあゆげまきんくわゆきんくわ
とくまきまきんくわまきんくわの信あきんくわ
とくまきんくわのりくくあぬきくきりきんも
まきんくわのりくくあぬきくきりきんも
まきんくわのりくくあぬきくきりきんも
まきんくわのりくくあぬきくきりきんも
まきんくわのりくくあぬきくきりきんも

一日辛丑月一日大雪降

一日辛卯月七日後湯成院崩御 在位 二十歳 泉涌寺に葬はす

京ノ町人ノ娘十五歳ナリシカ

同日木下若狭入道七備
おのりきんくわのりくくあぬきくきりきんも

一日辛巳月七日任吾ノ社并大主寺等ノ御修造ス

一日巳年杉宮ノ後府に御修造ノ御修造ス

一日辛卯月十六日角堂堂焚

一日月八日彗星現

一日辛酉年夏ノ冬ノ初ノ東南ノ雲川ノ流毎夜白氣五ツ

一 和光元年二月十日

一 中興の事ありて又その事ありて中興の事ありて

一 和光元年二月十日

一 和光元年二月十日

石之條

之和八年十一月十日

一 和光元年七月十日

一 和光元年七月十日

一 和光元年七月十日

一 和光元年七月十日

一 和光元年七月十日

一 和光元年七月十日

時少秘蔵ありて

別當ありて

祈らせられ

成有る則

上意有る

明皇ノ利

玉に四種

事ニ福

号ハ忽

号像

一 和光元年七月十日

一 和光元年七月十日

春日ノ為ノ菩提下ナリ同山ハ前妙心寺渭川列和尚
ト云ク

一日年二月奥列ノ山宮勅ス

一日年忠長是後行波府ヲ拜領ス

一日年七月十三日將軍秀忠ヨ日光御参詣

一日年十一月皇女降誕

一日年五月四月ヨリ秋八月ニテ天下大旱冠ニテ江列大旱

濁ニ式ハ鱗莫水ニ渴シテ死シ又草木急ク枯蕪ヲ名ニヨテ

一日年江府上野ニ東照大権現ノ御社ヲ建立アリ敷山

延曆寺ニ准一テ東叡山寛永寺ト云院号ハ同頓院

東日記第七

一寛永三丙亥九月六日將軍家ノ二条ノ亭ニ行幸アリ

羽登七百ニ席ヲ敷聞アリ八日ニ武家ノ拜礼夜ニ入テ御

款ノ舎アリ其夜死次才ハ清洞縁ノ錦御禊ヲ賜テ

御座トスヨリ縁縁ノ墨ヲ回敷ニシテ大臣家宮門跡ヨ御

席トス成ノ列中ニ天皇出御シテ丸ノ御方ニ大臣源孝忠

御座程沙右ノ方ニ右大臣源家光沙志程沙次ハ

通清開白御右次ニ二条右大臣次ニ一采次ニ二品親王次ニ

三品親王次ニ督司大内次ニ二条内大臣右ノ邊ノ大臣親王ノ

座トス御相ニ姓ハ鳥丸大納言忠純次ニ右大臣

次ニ尾張大納言義直次ニ紀伊大納言頼宣次ニ後河内守

忠長次ニ水戸中納言頼房次ニ左大臣源相上於人列

至中將基音物后灯臺ヲ持テ講師ノ曰座ノ左ノ上ニ至
次ニ後山語有火ヲ持テ灯臺ノ上ニ至次ニ視書ニ懐紙ヲ入テ
言倉中將副長胡后ノ曰座ノ右ニ至次ニ内大臣席ヲ立テ
読師ノ曰座ノ右ニ至次ニ冷泉中將為親胡后講師ノ曰座ノ右
冷泉ノ右ノ方ニ四辻中納言次ニ日野大納言次ニ中院大納言
左ノ方ニ三條大納言次ニ河井中納言次ニ殿上人四人南ノ方
實子ニ後ス内大臣読師ナレハ柳宗宰相懐紙ヲ入テ冷泉ニ
後ス冷泉講師ナレハ是ヲ讀取テ之ヲ款ヲ読次ニ四辻中
納言言ク祭声ス三條日野河井中院并實子殿上人
款ヲ付テ侃テ次ニ水戸中納言次ニ四辻中納言コノ款ハ實
子ニ作ス花鳥井中將祭声スレハ次ニ後河右納言次ニ紀伊大
納言次ニ尾張大納言次ニ右大將次ニ左大將次ニ鳥丸大納言次
日野大納言次ニ三條大納言次ニ内大臣次ニ花岡白次ニ大納言
年不親王次ニ二不親王次ニ右大臣次ニ將軍家次ニ左大臣次ニ
將軍家次ニ次ニ五區読師テ冷泉退出ス内大臣七ノ座ニ忌
閑白御製ノ読師ナレハ座ヲ立テ上ノ曰座ニ忌ク時ニ三條日
野四辻河井中院以上五人坐レサル閑白座ニ忌テ鳥丸ヲ氣色
アリ鳥丸講師ナレハ構ニテ座ヲ立テ中ノ曰座ニ忌ク閑白
御製ノ讀師ナレハ御製ヲ取テ曰座ニ忌ク御讀ヲ披見テ
鳥丸大納言ニ後ス高ノト読ム四辻祭色ス七區侃ノ其ノ
鳥丸本ノ座ニ着ク披讀畢テ天皇入御時ニ忌座ノ公御
座ヲ立テ拜ノ亦本ノ如ク着座アツテ次ニ下座ヲ退祭
右ノ着座ノ次也

右通使御高極進言

一白く孫あり年此の御孫合ふまゝに

一御出御中ゆゑに申す御孫十拜又

一御系御身一御系あり申す

空

右通女院御方へ將軍家光より中宮御方へ御

目人様。右通御言

一沙少御辛辰七段あり 一白く孫三百枚

空

右通内將軍家より女一名、御言

一沙少御辛辰七段あり 一白く子三百枚

空

右通女二名、將軍家より進言

一御出御辛辰七段あり 一白く孫五百枚 一馬御寸中巻

一ちんちん御言 一ちんちん御言

空

右通中宮御方へ大御所御方より進言

一白く目録進言 女院御方へ大御所より進言

一沙少御辛辰七段あり 二枚 一白く孫 百枚

一ちんちん御言 一白く家の道具

空

右通女一名、大御所より進言也

一右通御方の御道具如二名、大御所より進言也

少後夜 一条院夜 如忌院夜 延心院夜 三宅院夜
右し御門至甲乙あり

一 白紙中夜 少神中夜 初夜中夜 田内院夜 室敷院夜
一 証中夜 少神又日中夜 日中又 三平夜 七神中夜 証中夜
少神中夜 通中夜 兼官二位三位或少神或初夜中夜
二 亦名泉脈通ノ三象中ニ居ル

一 白紙二百段 少神中夜 完夜 兼官右少神夜 兼官田内院夜

一 白紙十段 少神之完 兼官三平夜

一 日 十段 兼官 兼官三平夜

一 白紙中夜 少神中夜 上層中夜 下層中夜

一 石日中夜 兼官 兼官中夜

一 白紙中夜 少神中夜 中内中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

一 白紙中夜 兼官中夜 兼官中夜

七ノ更
遠成寺 新夏
七ノ更
新夏
新夏

又三ノ
又三ノ
又三ノ
又三ノ
又三ノ

三ノ
三ノ
三ノ
三ノ
三ノ

七ノ更
七ノ更
七ノ更
七ノ更
七ノ更

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

柳友秋
小中
小中

右側

徳山院
徳山院

徳山院

本村孫三郎
本村孫三郎

松平山城守
松平山城守

松平花房守
松平花房守

本多伊藤守
本多伊藤守

牧神波河守
牧神波河守

松平老後守
松平老後守

新井大守
新井大守

松平知成守
松平知成守
松平知成守
松平知成守
松平知成守
松平知成守
松平知成守
松平知成守
松平知成守
松平知成守

有馬多部少捕
河津宗女正
水也集人正
戸田左門
常陸波理免
寺沢彦彦
平多能少
河戸波理免
高方左近
松平伊賀
小玉遠江
哲馬三人

有馬多部少捕

哲馬三人

有馬多部少捕
河津宗女正
水也集人正
戸田左門
常陸波理免
寺沢彦彦
平多能少
河戸波理免
高方左近
松平伊賀
小玉遠江
哲馬三人

有馬多部少捕
河津宗女正
水也集人正
戸田左門
常陸波理免
寺沢彦彦
平多能少
河戸波理免
高方左近
松平伊賀
小玉遠江
哲馬三人

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

常口三拾

伊勢治左

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

山本久方

副判

常口三拾

副判

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

Faint bleed-through text from the reverse side of the page.

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車 御車

布衣文

長口

布衣文

尾張末納言

馬副六郎

馬副六郎

格同

竹橋山城

白丁

白丁

成規集入

金村曰者

経末納言

安政業書力

水地流儀

時政抄

新井氏

新井氏

中山氏

新井氏

新井氏

新井氏

新井氏

新井氏

新井氏

中山氏 新井氏 新井氏

中山氏 新井氏 新井氏

加賀中野目上藤屋中野目上紙部奉相備書

今在書箱

昔和紙

紙部奉相

三河目上
金筆

昔和紙

紙部奉相

三河目上
金筆

安樂寺
馬標
副長
會
書

安樂寺
馬標
副長
會
書

南都
水

中
書

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page, including characters like 南都, 水, 中, 書, and various smaller characters.]

一 九月十九日勅使河野中納言首取中納言等
大臣秀忠公太政大臣 補任有人等 旨 殿慮 如御辭
返被下

一 御一門諸大名官位昇進之次第

尾張大納言義直卿 元中納言

紀伊大納言頼宣卿 元中納言

後河大納言忠長卿 元中納言

水戸中納言頼房卿 元宰相

加賀中納言利常卿

仙臺中納言政宗卿

陸奥中納言家久卿 元侍從

越前宰相忠昌卿

松平宮内左輔忠雄卿 宰相 元侍從

松平下野守忠輝卿 宰相 元侍從

赤松長門守秀就 任中 元侍從

松平長門守秀就 任少將 元侍從

細川越中守忠利 日

赤松若狭守忠吉 日 上杉淳心大納言定勝 日

松平新太郎光政 日 丹伊掾部政重 日

伊達遠近守秀宗 日

一 侍從 任也 元 日 得

仙臺侍從 是松平隆國 淺井但馬守 加賀守 日

赤松丹後守 瑞德 松平右馬頭

松平右馬頭 瑞德 松平右馬頭

松平出羽守

松平右衛門

松平中務

松平右衛門

松平阿波守

一 尾張守 任右衛門 徳和

生約山法印

南部信徳守

松平河内守

松平右衛門

水田日向守

松平大和守

寺沢志平守

松平丹波守

松平或女捕

松平和泉守

松平丹波守

一 新守人の鞍馬松平右衛門

二 尾張大納言

三 紀伊大納言

四 徳川大納言

五 水戸中納言

六 松平信圓守

七 松平信房守

八 松平伊豆守

九 松平小野守

十 松平宮内守

十一 松平和泉守

十二 井伊掃部

十三 上杉源右衛門

十四 信州右衛門

十五 南戸信徳守

十六 加藤肥後守

十七 松平右衛門

十八 淡路但馬守

十九 徳川信徳守

二十 徳川信房守

二十一 松平共門守

二十二 細川越中守

二十三 松平新右衛門

二十四 堀尾山城守

二十五 有馬左衛門

二十六 松平河内守

二十七 森屋信守

二十八 加藤左衛門

二十九 松平公作守

三十 生約山法印

三十一 松平河内守

三十二 松平右衛門

三十三 松平信房守

三十四 松平河内守

三十五 小室系右衛門

三十六 伊豆守

三十七 伊豆守

一七 宛

水田日向守

寺沢志平守

三田河守

松平出羽守

松平河内守

尾張守

徳川守

一柳監物

九鬼右衛門

系右衛門

系右衛門

松平山城守

山口伯耆守

戸田左門

松平内膳守

比田備中守

加茂出羽守

古田左部守

小出大和守

三浦右衛門守

伊予能登守

松浦備後守

有馬右衛門守

福原左衛門守

松平式部守

石川左衛門守

河部中守

河井左衛門守

井上主計守

永井信房守

安房右衛門守

西村左衛門守

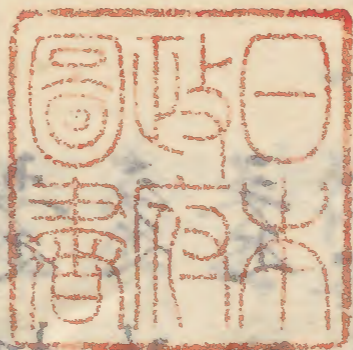
松平丹後守

枚種後河守

脇坂右衛門守

中島伊房守

以上大名七指入之數百石給是



[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]

